

---

## JA11. 外為法 申請者届出呼出し

---

業務コード	業務名
JAJ	外為法 申請者届出呼出し

## 1. 業務概要

外為法に基づく輸出入許可・承認等の申請に係る申請者届出情報を呼び出す業務である。

### (1) 申請者情報の新規登録（登録区分に「A」を入力した場合）

「外為法 申請者届出登録（JAJ01）」業務を呼び出す。流用する識別番号に入力がある場合は、流用先の申請者届出情報が表示される。

### (2) 申請者情報の更新（登録区分に「U」を入力した場合）

JAJ01業務を呼び出す。

### (3) 申請者情報の参照（登録区分に「R」を入力した場合）

登録済みの申請者届出情報を表示する。

## 2. 入力者

輸出入者

## 3. 制限事項

「V1」から始まるNACCS利用者IDのみ申請者届出情報を登録できる。

## 4. 入力条件

### (1) 入力者チェック

①利用者マスタDBに登録されている利用者であること。

②利用者（先頭5桁）と、入力したNACCS利用者IDの先頭5桁が同じであること。

### (2) 入力項目チェック

#### (A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

#### (B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

### (3) システム状態チェック

本業務を行う場合は、貿易管理サブシステムが手続き可能な状態であること。

### (4) DB関連チェック

#### (A) NACCS利用者ID

①利用者マスタDBに登録されている利用者であること。

②登録区分が新規登録の場合は、申請者個別情報DBに登録されていない利用者であること。

③登録区分が更新または参照の場合は、申請者個別情報DBに登録されている利用者であること。

#### (B) 流用する識別番号

①申請者個別情報DBに登録されている利用者であること。

## 5. 処理内容

### (1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

### (2) 申請者情報取得

入力された情報をキーに申請者届出情報を取得する。

### (3) 出力情報出力処理

後述の出力情報の出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
外為法 申請者届出登録	区分が新規登録または変更の場合	入力者
外為法 申請者届出情報	区分が参照の場合	入力者